

徳田の歴史-26

戸関遺跡(改 2)

尚今回で大掛かりな戸関遺跡の発掘は完了です。

発掘された陶器片の一部を紹介します。



①灰釉陶器片(15cm 位)

大きな物は特になく小片(かけら程度)も含めると数多く出土しているようです。



②緑釉陶器片(14cm 位)

緑釉陶器片は少なく9点位です。

①灰釉陶器

草木を焼いた灰と長石などの砕いた土石類を
といて釉薬としてかけて焼いた土器です。

②緑釉陶器

鉛の釉薬を使った日本最初の施釉陶器

こちらの陶器片は徳田町の字高井の高井遺跡から
も50点位が出土されています。いずれも日本の奈良
時代(710~794)~平安時代(794~1185年)にかけ
て生産された日本最初の釉薬陶器です。

県埋蔵文化財センター、鈴鹿市史等参照